

すえよしからの問題

『考えよ、歴史をゆさぶる決めゼリフを！』



※画像はAdobe Fireflyで生成したものです。

お題：もしも、あのニュートンが「本能寺の変」の授業をしたら？

【状況設定】

- 先生：あのリンゴで有名な錬金術師アイザック・ニュートン
- 授業テーマ：本能寺の変
- 授業の評判：
黒板に万有引力の数式を書き出したかと思えば、突然
「この炎は、信長の魂をより高次の存在へと昇華させるための
『神聖な錬金術』なのだ！」と語りだす……。
そんな物理とオカルトが入り乱れる授業が、
意外にも高校生たちに大ウケでした！

【問題】

この大ウケした授業のクライマックスで、ニュートン先生が放ったであろう最高の「決めゼリフ」を創作してください。

また、「なぜその決めゼリフが高校生にウケたのか」を、授業の具体的な内容に触れながら、その理由を説明してください。

※AIやリスナーの知恵を借りて、ニュートンの業績や意外な一面を調べるのも大歓迎です！

参考までに。こちらは『もう少しガンバれば』さらに面白くなる例です。
→『リンゴ、落ちる。信長、死ぬ。これ、法則』

(次のページへ)

【採点基準】

以下の5項目、合計20点満点で評価します。番号が若いほど重要なポイントです。

1. ニュートンらしさ（6点）

：法則と奇跡！二人のニュートンを表現できているか？

2. 「ウケた理由」の説得力（5点）

：教室が熱狂する光景が目浮かぶか？

3. 事実に説得力（4点）

：知のスパイスが効いているか？（歴史×科学×錬金術）

4. インパクト・言ってみたら（3点）

：明日、学校で真似したくなるか？

5. テーマの深さ（2点）

：面白いだけじゃない！ハッとさせられる深みがあるか？

合計 **20**点満点

以上です。